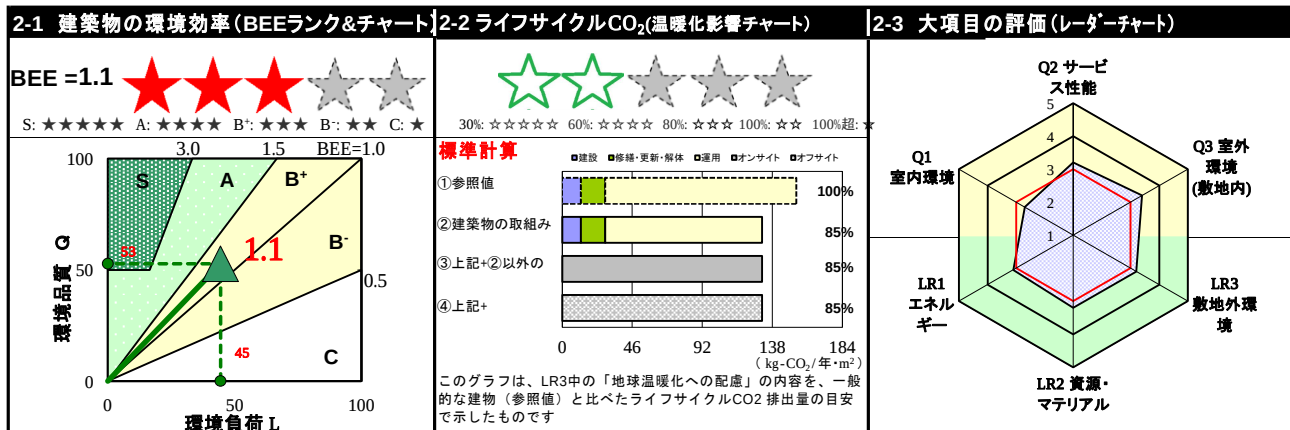


CASBEE®-建築(新築)

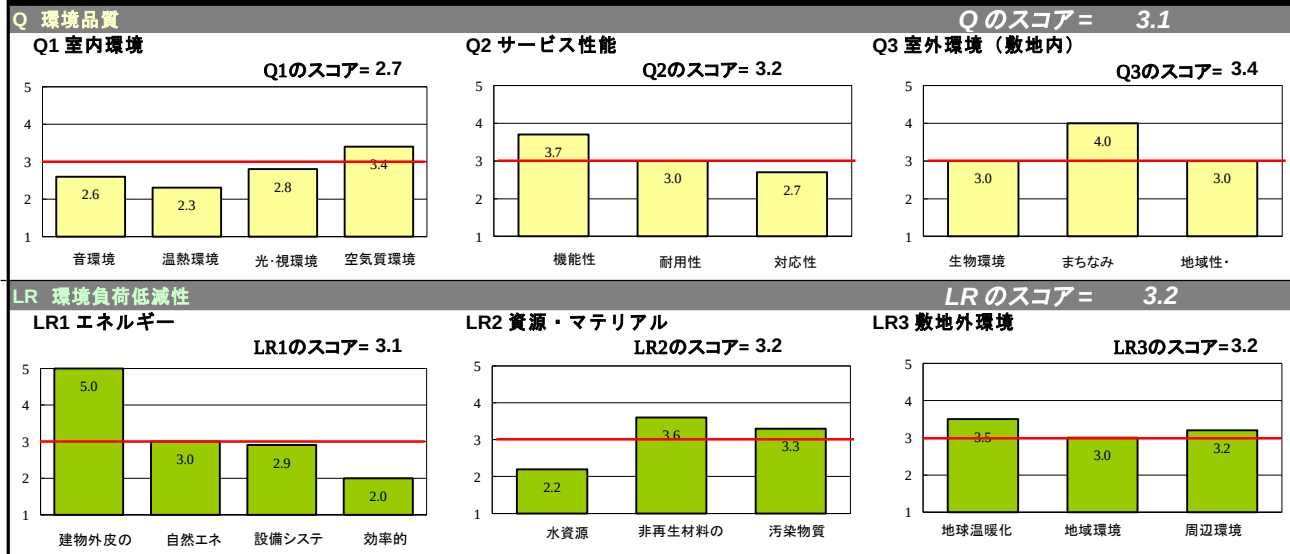
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)箕面市船場西1丁目有料老人ホーム	階数	地上5F、地下0F	
建設地	大阪府箕面市船場西	構造	RC造	
用途地域	第二種中高層住居専用地域、法224	平均居住人員	72 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年7月31日	
敷地面積	2,391 m ²	作成者	IAO竹田設計 田中 謙行	
建築面積	1,156 m ²	確認日	2025年7月31日	
延床面積	4,431 m ²	確認者	IAO竹田設計 田中 謙行	



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合			その他
大阪府箕面市に建設される、有料老人ホームの計画である。外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めている。			0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	
ほぼ全面的にF★★★★の建材を使用し、室内の良好な空気環境の確保を図っている。	各病室面積にゆとりのある計画としている。また、防汚性の高い仕上げ材、耐用年数の長い配管材料を採用することで、建物の維持管理に配慮している。	景観を提出しており、落ち着いた色彩の外装材を採用する等、周辺のまちなみに調和するように配慮している。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
断熱性能の高い躯体構成及び建築材を使用するとともに、効率のよい設備機器を導入することで建物の熱負荷抑制に配慮している。	OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	高効率な設備機器の採用によりCO ₂ の削減に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)箕面市船場西1丁目有料老人ホーム 新築工事					
建設地		大阪府箕面市船場西					
用途／区分		病院 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 評価対象外				評価対象外	
④	エネルギー消費性能					3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分 				評価対象外 2	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	2.9	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		